

2010年12月期
第2四半期決算説明会資料

2010年8月19日



東亞合成株式会社

	ページ
はじめに・2010年第2四半期決算概要	2
連結業績推移	3
連結部門別売上高・営業利益	4
連結営業外損益・特別損益	5
連結貸借対照表	6
連結会社概況(第2四半期実績)	7
2010年連結業績予想	8
2010年連結業績予想(部門別)	9
連結経営参考数値	10
連結経営参考数値の推移	11
〈参考〉2010年単体業績予想	12
【中期経営計画の進捗状況】	
“ALL TOA 2010” 最終年の見込み	13～14
2010年上期トピックス	15～17
次期中期経営計画の策定	18



はじめに・2010年第2四半期決算概要

連結の範囲

連結子会社数 24社(前期より1社増加)

・MTエチレンカーボネート(株)は、リチウムイオン電池用原料製造の合併会社(東亜合成 90%、三井化学 10%)として2010年6月に設立し、連結子会社となった。

持分法適用会社数 2社(前期より変更なし)

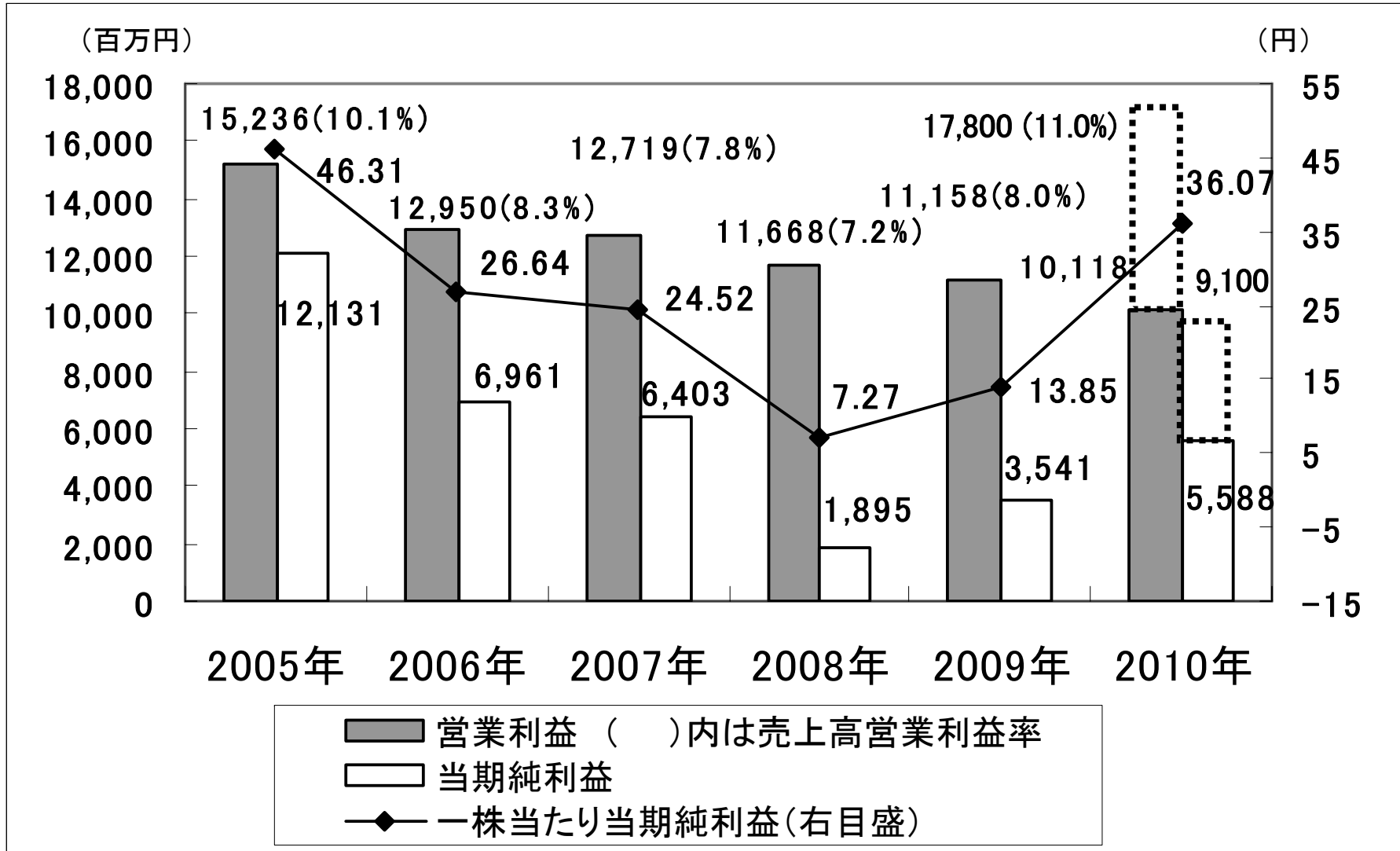
連結決算概要

(単位:百万円)

	2009.6	2010.6	増減	
売上高	64,932	75,853	10,921	16.8%
営業利益	2,761	10,118	7,356	266.4%
営業利益率	4.3%	13.3%	9.0%	
経常利益	2,974	10,017	7,043	236.8%
四半期純利益	△ 703	5,588	6,292	—
1株当たり四半期純利益	△2.72円	22.15円	24.87円	—
配当	3.0円	3.5円	0.5円	
	(年間6.0円)	(年間7.0円)	(1.0円増配)	



連結業績推移



※2005年は税効果による影響で当期純利益が通常より24億円増加している。

連結部門別売上高・営業利益

(百万円)

売上高	2009.6	2010.6	売上増減		
			数量差	単価差	増減額
基礎化学品	21,609	23,833	3,559	△ 1,335	2,223
アクリル製品	21,461	29,638	6,005	2,172	8,177
機能製品	6,967	8,422	1,432	23	1,455
樹脂加工製品	14,033	13,367	△ 465	△ 201	△ 665
その他	860	591	△ 269	0	△ 269
合計	64,932	75,853	10,262	659	10,921

営業利益	2009.6		2010.6		増減
		営業利益率		営業利益率	
基礎化学品	960	4.4%	3,585	15.0%	2,624
アクリル製品	358	1.7%	4,187	14.1%	3,829
機能製品	921	13.2%	1,862	22.1%	940
樹脂加工製品	755	5.4%	692	5.2%	△ 63
その他	△ 273	—	△ 162	—	111
全社・消去	39	—	△ 47	—	△ 86
合計	2,761	4.3%	10,118	13.3%	7,356

◆2010年第1四半期において組織変更を実施したことに伴い、建材・土木はアクリル製品から機能製品へ、光硬化型樹脂は機能製品からアクリル製品へ変更しました。また、前年と当年の数字は新しい事業区分に置き換えて対比している。

◆「その他」の内容は、開発中の製品および運輸、不動産、設備の建設、修繕等の化学品事業に属さないもの。

連結営業外損益・特別損益

(百万円)

営業外	2009.6	2010.6	増減
受取利息・配当金	259	233	△ 25
雑収入	281	169	△ 112
支払利息	△ 149	△ 115	33
環境整備費	—	△ 345	△ 345
遊休設備費	△ 152	△ 58	94
雑支出	△ 208	△ 187	21
持分法による投資利益	181	203	22
合計	213	△ 100	△ 313

特別損益	2009.6	2010.6	増減
貸倒引当金	△ 148	△ 7	141
固定資産処分損	△ 65	△ 112	△ 46
減損損失	△ 2,431	△ 194	2,237
投資有価証券評価損	—	△ 45	△ 45
その他	5	14	9
合計	△ 2,640	△ 345	2,294

営業外損益

・環境整備費
PCB処理費用見積もり計上

・持分法利益

	2009.6	2010.6
エルマース・トウアゴウセイ	200	189
中部液酸	△ 19	14
	181	203

特別損益

- ・貸倒引当金
貸付先に対する引当金計上額減少
- ・固定資産処分損
遊休設備、撤去費用見積もり計上
- ・減損損失
アロン化成高槻事業所(2010年上期)

科 目	2009.12	2010.6	増減
現 預 金 ①	12,778	19,647	6,869
売 掛 債 権	44,019	44,649	630
棚 卸 資 産	15,862	15,846	△ 16
その他流動資産	2,376	2,171	△ 205
固 定 資 産	62,101	62,843	742
投資有価証券	13,995	13,696	△ 299
その他固定資産	10,477	10,187	△ 290
資 産 合 計	161,609	169,040	7,431
支 払 債 務	16,786	15,851	△ 935
借 入 債 務	15,728	15,546	△ 182
未払法人税等	1,568	3,494	1,926
繰延税金負債	1,086	1,009	△ 77
その他負債合計	12,741	14,743	2,002
負 債 合 計	47,909	50,643	2,734
純資産合計②	113,700	118,396	4,696
負債・純資産合計	161,609	169,040	7,431

主な増減要因

- ①業績好調および下期の設備投資に備えるため現預金増加
- ②利益剰余金の増加

キャッシュフローの状況

	2009.6	2010.6	増減
営 業 C F	13,299	13,867	567
投 資 C F	△ 3,166	△ 5,766	△ 2,599
F C F	10,132	8,100	△ 2,032

連結会社概況(第2四半期実績)

(百万円)

	会社名	事業概要	資本金	持分 (%)	売上高		営業利益		四半期純利益		部門
					09/2Q	10/2Q	09/2Q	10/2Q	09/2Q	10/2Q	
1	鶴見曹達	化学製品製造販売	2,080	100	6,814	8,380	145	1,245	57	785	基礎化学品
2	東亜テクノガス	工業ガス製造販売	400	100	2,355	2,734	103	344	101	216	↓
3	(日本純薬)	化学製品製造	351	100	1,374	1,233	26	24	12	20	アクリル
4	(大分ケミカル)	化学製品製造	450	90	2,500	3,747	2	32	0	0	↓
5	トウアコウセイシガポール	化学製品製造販売	4,270	100	3,174	5,269	△ 68	1,203	△ 87	1,205	↓
6	MTアクアポリマー	化学製品製造販売	460	51	5,074	5,806	538	756	336	447	↓
7	台湾東亜合成	化学製品販売	92	100	218	444	△ 3	9	△ 1	8	↓
8	東昌化学	化学製品製造	52	51	617	1,206	4	20	4	19	↓
9	張家港東亜迪愛生化学	化学製品製造販売	600	60	1,028	1,206	147	64	150	49	↓
10	トウアコウセイアメリカ	接着剤製造販売	885	100	994	1,212	164	200	202	224	機能製品
11	(アロンエバークリップ)	接着剤製造	148	100	1,125	893	18	0	12	2	↓
12	(アロン包装)	接着剤包装	10	100	109	116	△ 3	5	△ 2	4	↓
13	東亜合成香港	化学製品販売	126	100	118	176	10	19	11	17	↓
14	東亜合成珠海	接着剤製造販売	106	100	77	131	△ 10	20	△ 9	17	↓
15	(MTエチレンカーボネート)	化学製品製造	480	90	—	—	—	△ 3	—	△ 3	↓
16	アロン化成	合成樹脂成型品製造販売	4,220	61.1	13,161	12,423	868	669	408	280	樹脂加工
17	ミクニプラスチックス	合成樹脂成型品製造販売	315	61.1	901	967	△ 114	△ 22	△ 88	△ 15	↓
18	東亜興業	運送	25	100	650	697	5	26	7	21	その他
19	TOAエンジニアリング	化学設備建設/修繕	50	100	836	548	59	6	39	3	↓
20	東亜ビジネスアソシエ	不動産仲介/管理	40	100	612	624	50	45	30	27	↓
21	TGコーポレーション	化学製品販売	174	100	4,988	6,314	68	125	40	72	↓
22	(東亜物流)	運送	16	100	1,628	1,806	31	31	19	19	↓
23	(四国東亜物流)	運送	10	70	642	735	1	1	0	0	↓
24	(北陸東亜物流)	運送	10	90	147	132	0	0	0	0	↓
	単純合計				49,142	56,799	2,041	4,819	1,241	3,417	

()の会社は、ほぼ全量が当社との取引

	2009年間実績 (A)	2010上期 (実績)	2010下期 (予想)	2010年間予想 (B)	増減 (B-A)
売上高	140,033	75,853	77,947	153,800	13,767
営業利益	11,158	10,118	7,682	17,800	6,642
営業利益率	8.0%	13.3%	9.9%	11.6%	3.6%
営業外損益	380	△ 100	100	0	△ 380
経常利益	11,538	10,017	7,783	17,800	6,262
特別損益	△ 4,333	△ 345	△ 755	△ 1,100	3,233
税前利益 (a)	7,205	9,672	7,028	16,700	9,495
法人税等及び同調整額 (b)	2,844	3,722	3,028	6,750	3,906
税負担率(b)/(a)	39.5%			40.4%	0.9%
少数株主利益	819	360	490	850	△ 20
当期純利益	3,541	5,588	3,512	9,100	5,559
< 参 考 >					
為替レート(円/US\$)	¥92.10	¥88.48	¥95.00		
ナフサ(円/kl)	¥36,000	¥48,700	¥50,000		

(注) 損益影響試算: ナフサkl当たり1千円の変動で±300百万円

為替1円/USDの円高で+30百万円

2010年連結業績予想(部門別)

(百万円)

売上高	2009実績	2010予想	増減	増減要因
基礎化学品	45,646	46,871	1,225	[増収] 液化塩化水素 [減収] 苛性ソーダ、有機溶剤
アクリル製品	48,766	58,871	10,104	[増収] アクリル酸エステル、光硬化型樹脂、ポリマー
機能製品	15,523	17,529	2,005	[増収] 工業用接着剤、エレクトロクス材料
樹脂加工製品	28,599	29,335	736	[増収] 介護関連製品 [減収] 管工機材
その他	1,497	1,191	△ 305	
合計	140,033	153,800	13,767	

営業利益	2009実績	売上高 営業利益率	2010予想	売上高 営業利益率	増減	増減要因
基礎化学品	4,283	9.4%	5,627	12.0%	1,343	[増益] 液化塩化水素 [減益] 苛性ソーダ
アクリル製品	2,801	5.7%	7,229	12.3%	4,427	[増益] アクリル酸エステル、ポリマー、光硬化型樹脂
機能製品	2,921	18.8%	3,836	21.9%	914	[増益] 工業用接着剤、エレクトロクス材料
樹脂加工製品	1,791	6.3%	1,789	6.1%	△ 1	[増益] 介護関連製品 [減益] 管工機材
その他	△ 640	-	△ 681	-	△ 42	
合計	11,158	8.0%	17,800	11.6%	6,642	

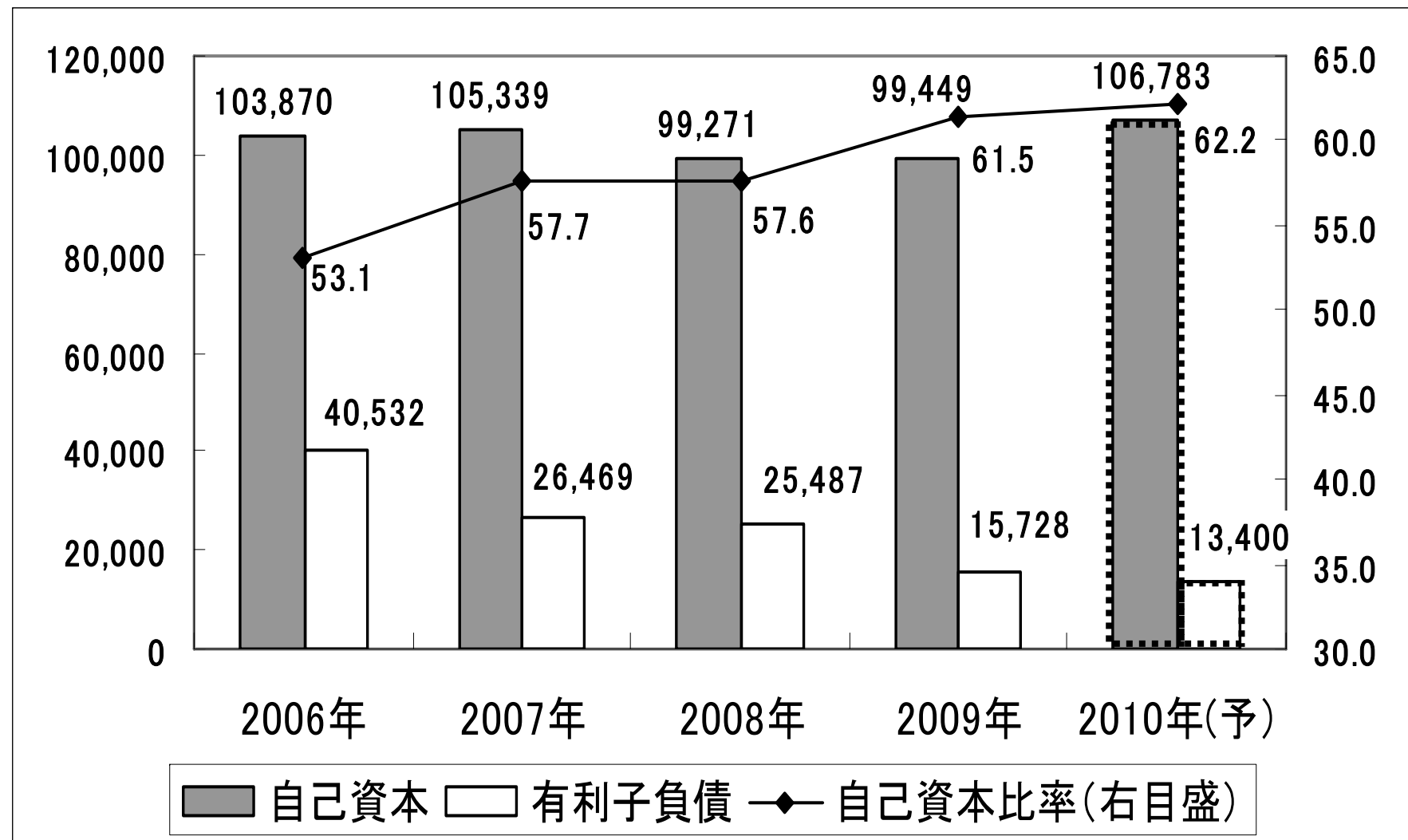
- ◆2010年第1四半期において組織変更を実施したことに伴い、建材・土木はアクリル製品から機能製品へ、光硬化型樹脂は機能製品からアクリル製品へ変更しました。また、前年と当年の数字は新しい事業区分に置き換えて対比している。
- ◆「その他」の内容は、開発中の製品および運輸、不動産、設備の建設、修繕等の化学品事業に属さないもの。

	2008年	2009年	2010年予想
減価償却費	89	84	83
設備投資	67	59	130
試験研究費	48	45	45
海外売上高	202	201	252
有利子負債	255	157	134

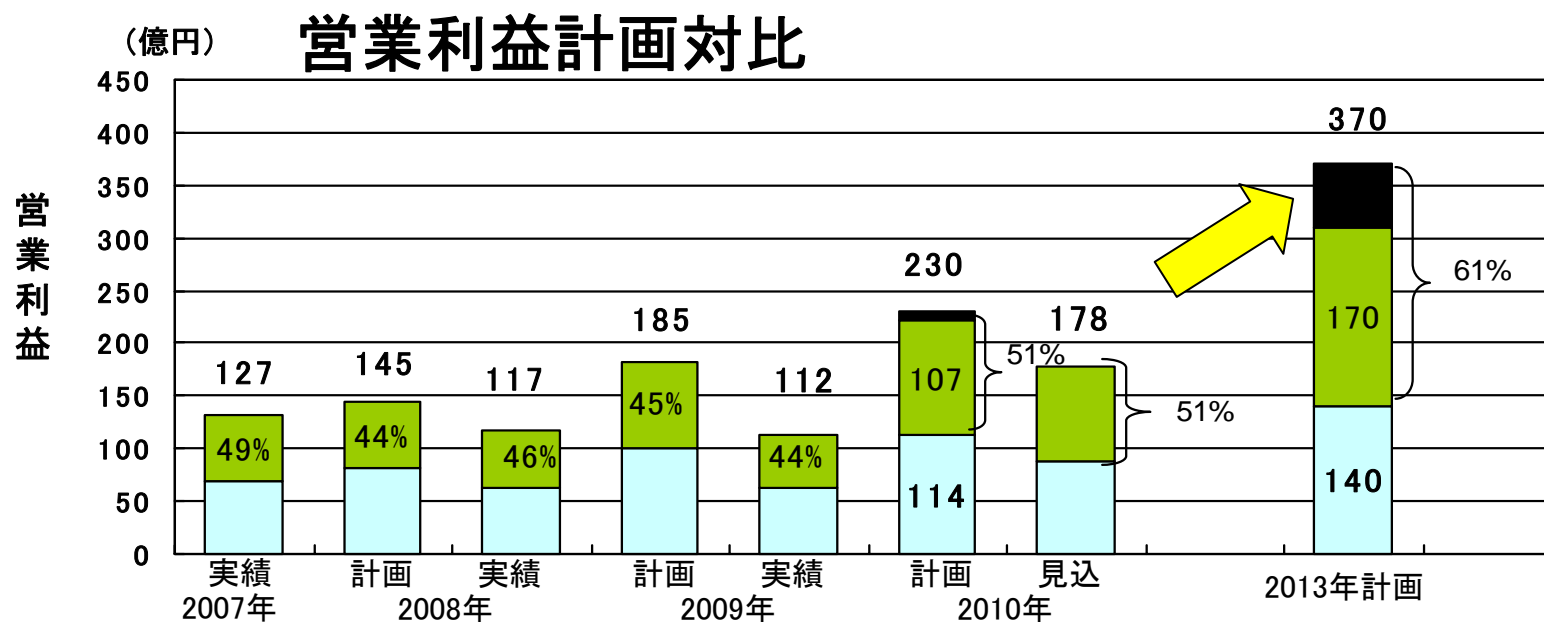
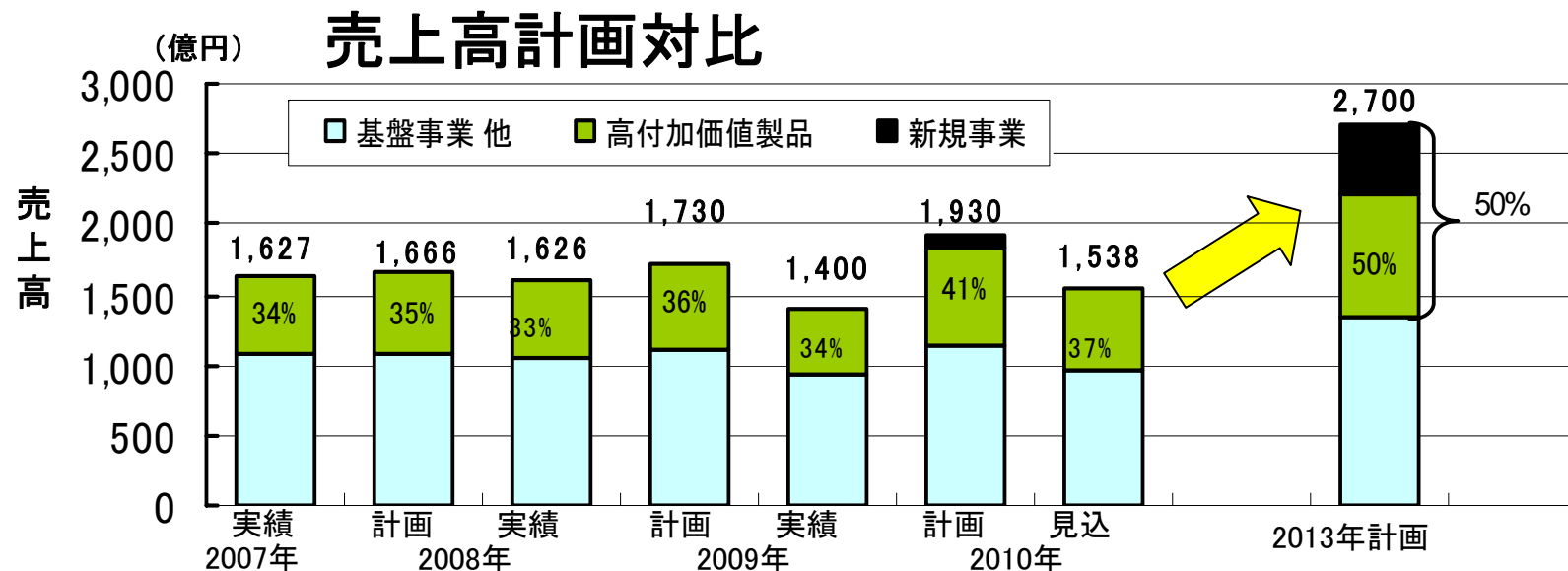
連結経営参考数値の推移

(百万円)

(%)



	2009年間実績 (A)	2010上期 (実績)	2010下期 (予想)	2010年間予想 (B)	増減 (B-A)
売上高	69,008	39,925	38,975	78,900	9,892
営業利益	5,329	5,397	4,203	9,600	4,271
営業利益率	7.7%	13.5%	10.8%	12.2%	4.4%
営業外損益	2,167	569	731	1,300	△ 867
経常利益	7,497	5,966	4,934	10,900	3,403
特別損益	△ 3,980	198	△ 598	△ 400	3,580
税前利益	3,516	6,164	4,336	10,500	6,984
当期純利益	3,152	3,939	2,761	6,700	3,548



■ 高付加価値製品

- 電子部品用光硬化型樹脂モノマーおよび配合品は国内およびアジア地区での販売数量増と収益改善により、営業利益は計画達成の見込み。
- 半導体向けシリコン系高純度ガス(六塩化二珪素)は国内外での出荷増加により、売上・営業利益とも計画達成の見込み。
- 接着剤、アクリルポリマー、無機高純度品等の重点開発製品は景気後退により新規開発が遅延し計画未達の見込み。

■ 基盤事業

- 不採算事業の塩素系有機溶剤の生産を1年前倒しで停止することにより収益と企業体質の改善を実施した。
- アクリルモノマーはアジア地区での市況上昇に伴い収益が大幅向上し、営業利益は計画達成の見込み。
- 苛性ソーダ、苛性カリ等無機製品、工業ガスの出荷数量は、2008年対比約90%の回復に留まり、値上・固定費削減効果があるも、数量減の影響が大きく計画を下回る見込み。

■ 飼料添加剤用原料の増強

大分ケミカルは中間原料であるメチル・メルカプト・プロピオンアルデヒド(MMP)の製造設備を譲り受け、MMPの販売を開始。今後の世界的な需要増加に対応するため設備を増強中。(2011年央、本稼動開始予定)

■ 水溶性ポリマーのアジア展開推進

伸長するアジア地区での製紙関連需要に対応するとともに、アジア地区生産拠点としてのトウアゴウセイ・シンガポールの事業構造を改革する第一歩として水溶性アクリルポリマー工場建設に着手し順調に進行中。

2011年初の本格稼動に向けてアジア地区での市場開発を積極推進中。

- **LiB用電解液原料(EC:エチレンカーボネート)の製造合弁会社設立**

携帯機器・電気自動車等への急激な市場拡大が期待されるLiB(リチウムイオン電池)用電解液原料であるECの安定供給と需要増大に対応するため、原料エチレンオキサイド(EO)メーカーの三井化学(株)大阪工場内に、東亜合成独自技術によるEC製造を行う合弁会社を設立。
- **高純度無機製品の開発強化**

高純度苛性カリ類(2009年11月)および高純度硫酸(2010年内完成予定)の製造を開始し、電子材料用途等への展開を推進中。
- **船舶用バラスト水処理システム用薬剤のIMO承認取得**

JFEエンジニアリング(株)が開発した船舶用バラスト水処理システムがIMO(国際海事機関)の最終承認を取得し、同時に東亜グループが共同開発した薬剤も最終承認を取得した。今後1年以内に国内各地を中心に薬剤の供給体制を確立予定。

■ 合成塩酸事業の拡大

全国的な副生塩酸の減少に伴い、名古屋および徳島につづき2010年8月に鶴見でも合成塩酸設備を増強し、3拠点合わせた生産能力を日本一とした。

■ 塩化ビニル樹脂製造設備の引き取りと製造受託

ヴィテック(株)の塩化ビニル樹脂、塩化ビニルモノマー、電解製品の事業撤退方針を受け、当社は2011年4月以降 ヴィテック(株)川崎工場の塩化ビニル樹脂製造関連設備を引き取り、(株)カネカの塩ビ樹脂の製造受託を行う予定。

■ R&D総合センターの新設

オール東亜の研究開発および技術開発の中心拠点として名古屋工場内に2010年末完成予定。

- 2011年から始まる次期中期経営計画を策定中
 - 東亞合成グループのビジョンである「価値創造型高収益企業グループ」を目指し、売上規模の拡大と利益の向上を図る方向性は変えない。
 - 次期中計では、将来の「ありたい姿」を描き、そこに到達する道筋(ストーリー)を作成し、その第一歩として3年間の中計計画を策定する。
 - 成長する事業分野、成長する地域へアクセスすることにより規模と収益の拡大を図る。
 - 目標を厳選し3年間で必ず達成することにより企業体質の変革を図る。

⇒ 次期中期経営計画は2011年初旬に発表予定